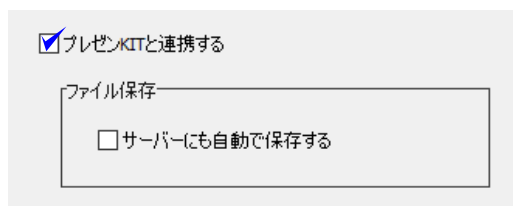
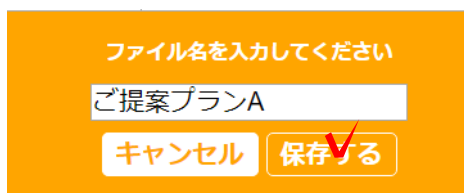
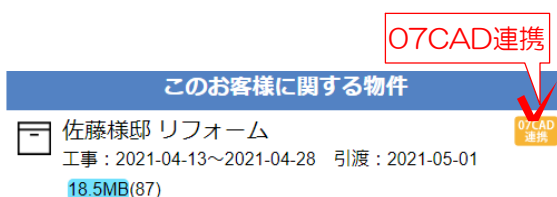
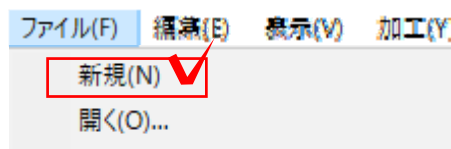


プレゼンKITと連携：○
 サーバーにも自動保存：×



※サーバー=プレゼンKIT



(2) 連携のみチェックしている場合

CADファイルをプレゼンKITの物件に連携しておくと、ecd・パース・VRデータを好きなタイミングでプレゼンKITに保存できます。
 (サーバー容量が気になる方におすすめです)

【CADの連携と保存】

2-1 CADファイルをプレゼンKITの物件と連携します。

ファイルメニューから「新規」で作成時にお客様・物件を指定して **07CAD連携** ボタンで連携します。

CADファイルとプレゼンKITの物件が連携されました。※この時点でCADファイルはまだ保存されていません。

2-2 CADファイルをプレゼンKITに保存する場合は、クラウドメニューから保存をします。

すでに作図中のCADファイルを、プレゼンKITの物件に連携（保存）する場合も同様に、クラウドメニューから保存をしてください。

2-3 お客様・物件を選択します。名前を付けてCADファイルをプレゼンKITに保存します。

ファイルをPC（ローカル）に保存をした時に、サーバーのファイルは上書きされません。保存したい場合は、クラウドボタンから再度保存する必要があります。

(同名で保存した場合も上書き保存されず、別ファイルとして保存されます。)

パース (eE-Painer/橋)



【パース・VRの自動保存】

CADファイルを物件と連携（保存）しておきます。

2-4 CADファイルでパースカメラまたはVRカメラを設置します。

2-5 レンダリングをクリックします。

2-6 eE-Painerまたは橋を選択します。
eE-Painer・橋ローカルの場合：

e-Boardに保存のチェックを入れます。

橋サーバーの場合：

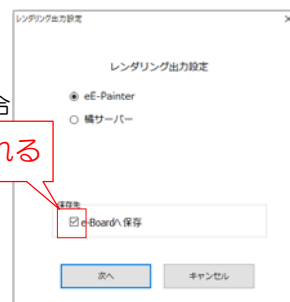
自動で保存のチェックが入ります。

VR・スタンドインVR (eE-Painer/橋)



eE-Painerの場合

チェック入れる



2-7 レンダリング開始をクリックします。

プレゼンKIT



2-8 レンダリングが完了するとプレゼンKITの物件の「その他」にUPされます。

※たくさんのファイル、パース画像がサーバーに保存されるので、容量がいっぱいになった場合は物件のダウンロード・削除が必要です。（容量の追加ご契約も可能です）

ダウンロードした物件はプレゼンKITに戻すことは出来ません。